

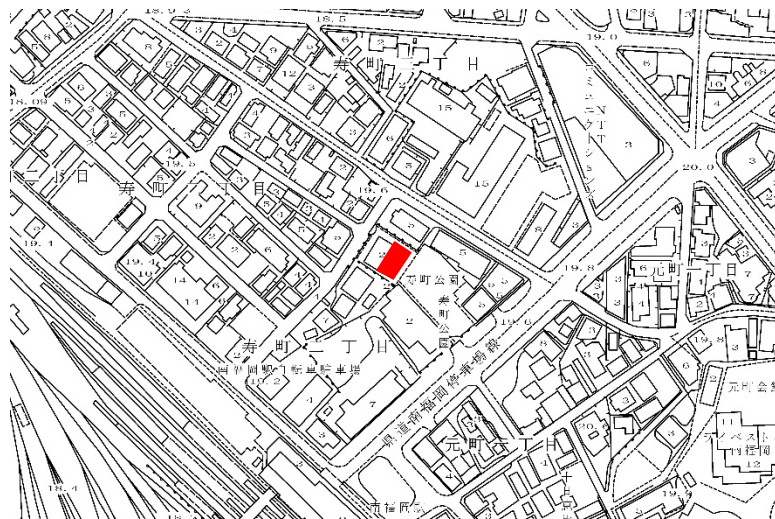
2104 南八幡遺跡第21次調査 (MHM-21)

所在地 博多区寿町2丁目117番1、117番2
調査原因 共同住宅
調査期間 2021.4.12～2021.5.31
調査面積 215m²
担当者 中園将祥
処置 記録保存

調査の概要

南八幡遺跡は、福岡市の南端に位置し、福岡平野を流れる那珂川と御笠川に挟まれた洪積台地上に立地する遺跡である。今回の調査では標高約20m前後の遺構検出面で、竪穴住居跡1軒・土坑1基・ピット状遺構66基が検出された。竪穴住居跡はカマドを伴う約3×3mの方形の平面を呈し、深さは約0.4mを測り、出土遺物などから8世紀中頃から後半の住居であると考えられる。

今回の第21次調査では南西側で行われた第2次・3次調査で検出された集落域が北西方向にも広がる事が確認でき、周辺の古代の遺跡や環境を考える上で重要な調査となった。



1. 調査地点の位置 (12 麦野 0051 S=1/4, 000)



2. 調査Ⅱ区全景 (北西から)